

建築物耐震診断判定通知書

交付番号 SKK判第 13024 号

交付年月日 平成 25 年 11 月 13 日

稚内市

稚内市長 工藤 広 様

株式会社 札幌工業検査
代表取締役社長 兼平 久



下記による申請について、判定しましたので通知します。

記

1	申請年月日	平成25年10月8日		
2	建築物の名称	稚内南中学校 校舎D棟(22棟)		
3	建築物の所在地	稚内市緑1丁目		
4	主要用途	中学校 渡り廊下	5 階 数	地上 2 階 地下 階 塔屋 階
6	構造	RC造	7 軒 高	6.37 m
8	延べ面積	68 m ²		

建築物耐震診断判定・耐震改修計画評定委員会の判定

別添判定書のとおり妥当なものである。

株式会社 札幌工業検査 建築物耐震診断判定・耐震改修計画評定委員会

委員長 橋本 健



SKK判第 13024 号

平成25年11月13日

耐震診断判定書

稚内市

稚内市長 工藤 広 様

株式会社 札幌工業検査

建築物耐震診断判定・耐震改修計画評定委員会

委員長 橋本 健一



平成25年10月8日 付耐震診断判定申込のあった建築物について、
次のとおり判定します。

記

1 耐震診断対象建築物

名 称	稚内南中学校 校舎D棟(22棟)
所 在 地	稚内市緑1丁目
構造・規模	RC造 地上 2階 ・ 68 m ²

2 審 査 結 果

耐震診断は適正におこなわれている。

以上

(様式1)

§ 1 建物概要

1-1 一般事項

建物名称		稚内南中学校 校舎D棟(22棟)			
建築場所		稚内市緑1丁目			
用途		(竣工時) 中学校 渡り廊下		(現 状) 中学校 渡り廊下	
設計者等	設計者	株式会社 久米建築事務所			
	監理者	株式会社 久米建築事務所			
	施工者	不明			
	診断者	株式会社 創 建 社			
建物規模	敷地面積	28,500 m ²	建築面積	68.0 m ²	
	延べ面積	68 m ²	基準階面積	68.0 m ²	
	軒 高	6.37 m	最高の高さ	6.8 m	
	基準階階高	2.6 m	地下階高	— m	
建物履歴	設計年	昭和52年(1977年)	竣工年	昭和53年(1978年)	
	増築・改築	有 ・ (無)	(履歴の内容) 観測点:稚内市中央 平成18年(2006年)8月 サハリン西方沖 震度2 平成25年(2013年)5月 オホーツク海 震度1		
	補修・模様替	有 ・ (無)			
	用途変更	有 ・ (無)			
	火 災	有 ・ (無)			
	震 災	有 ・ (無)			
構造種別	鉄筋コンクリート造	構造形式	2階 壁式構造 1階 ラーメン構造		
階数	地上 2階	地下	—	塔屋	—
基礎形式	独立基礎	地 業	(直接) ・ 杭	地 耐 力 30 t/m ²	
地盤	1種 (2種) ・ 3種	支持層	軟質泥岩	杭支持力	
敷地概況	平坦地			杭径	杭長
設計図書	既存図面等	意匠図 : 一般図 (有) ・ 無		詳細図: (有) ・ 無	
		構造図 : (有) ・ 無		構造計算書 : (有) ・ 無	
		地質調査資料 : 有 ・ (無) (近隣資料 (有) ・ 無)			
添付図書	写真(抜粋)・意匠図・構造図・地質調査資料など				
仕上(下地共)概要	屋 根	コンクリート直均しの上、アスファルト露出防水			
	外 壁	モルタル厚20mmの上、リシン吹付			
	天 井	スタイロフォーム打込の上着色岩綿 t10mm吹付			
	内 壁	シナベニヤ t=6、VP仕上			
	床	モルタル下地、ビニルアスベストスタイル貼り			
その他	垂直積雪量	(設計時) 100 cm	(現状)	130 cm	
	Exp.Jの	(有) 無			

(様式2)

耐震診断結果表

建物名称(棟 名)		稚内南中学校 校舎D棟(22棟)							
層重量(kN)		1階	1152.12	2階	788.47				
単位重量(kN/m ²)		1階	16.87	2階	11.54				
柱・壁量 (cm ² /m ²)	X方向	階		階		階		階	
	Y方向	階		階		階		階	
耐震診断結果(正・負加力で不利な数値を記入) 判定指標値 Iso =0.56 C _{TU} ・S _D = 0.24									
方 向		階	F	E _o	S _D	T	I _s	C _{TU} ・S _D	判定
X方向 (桁行方向)		2	—	—	—	—	—	—	—
		1	3.20	1.579	0.649	0.933	0.957	0.320	OK
Y方向 (張間方向)		2	—	—	—	—	—	—	—
		1	1.00	0.403	0.812	0.933	0.305	0.327	NG
結果 (特性)	X方向 (桁行方向)	各階とも累積強度指標 C _{TU} ・S _D 値及び構造耐震指標 I _s 値は判定値を上回っており、「想定する地震動に対して所要の耐震性は確保されている。」と判定される。							
	Y方向 (張間方向)	累積強度指標 C _{TU} ・S _D 値は判定値を上回っているが、構造耐震指標 I _s 値は判定値を下回っており「耐震性に疑問がある。」と判定される。							

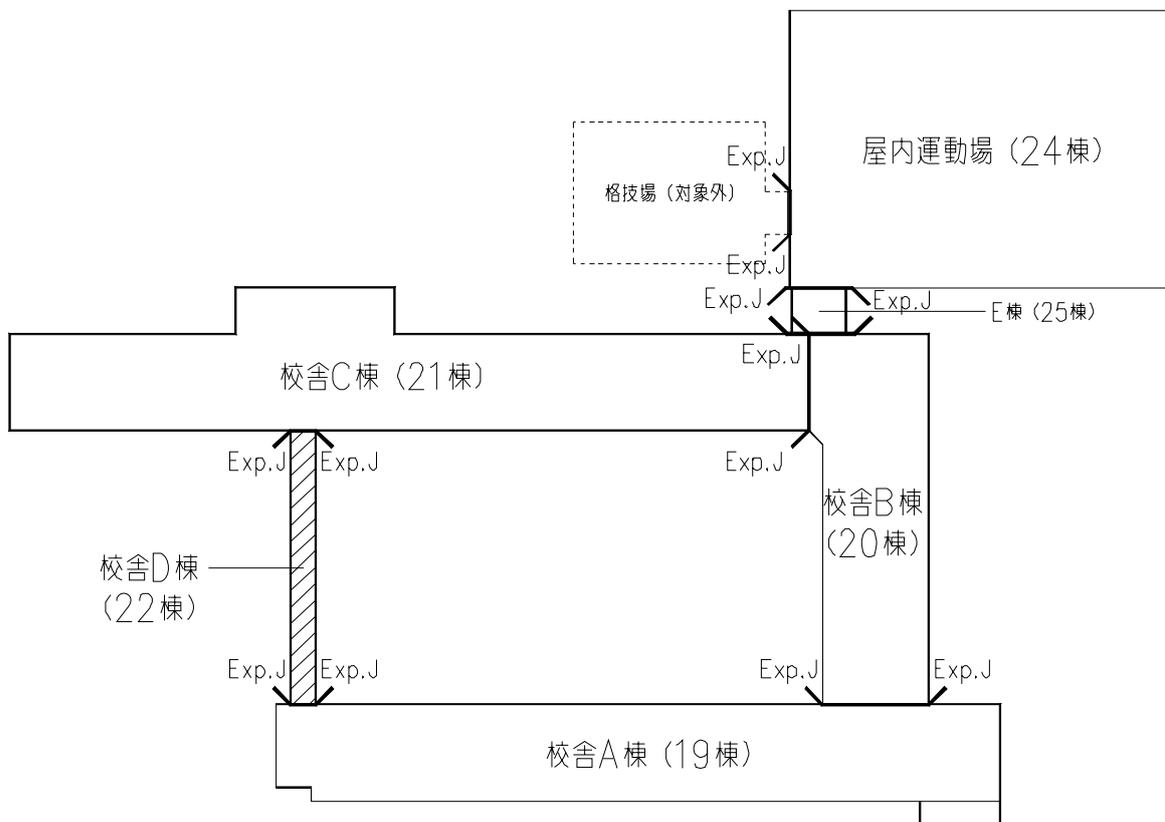
※2階は壁式構造で1階はRCラーメン構造の異種構造である。架構は不明解で診断不能のため結果は表記されない。

(様式-3a)

耐震診断指標(RC造)

耐震性能	RC造	準拠耐震診断基準		「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準 同解説」2001年改訂版 (財)日本建築防災協会		
		適用(参考)図書		同上		
		診断次数		二次診断		
		使用計算プログラム	建物重量等	ACE許容2-RC (Ver. 2.42) (株)東京デンコー		
			診断計算	ACE診断2001 (Ver. 3(2009)) (株)東京デンコー		
		耐震判定基本指標	E_s	0.7		
		地盤指標	G	1.0		
		用途指標	U	1.0		
		地域指標	Z	0.8		
		構造耐震判定指標	I_{so}	$0.7 \times 0.8 \times 1 \times 1 = 0.56$		
累積強度指標	$C_{TU} \cdot S_D$	$0.3 \times 0.8 \times 1 \times 1 = 0.24$				
鉄骨造	準拠耐震診断基準		/			
	適用(参考)図書					
	使用計算プログラム	建物重量等				
		診断計算				
	地盤指標	G				
	用途指標	U				
	地域指標	Z				
構造耐震判定指標	I_s					
材 料 強 度	コンクリート強度 (設計基準強度)		設計基準強度	診断強度		
		1~2階	F_c : 210 kg/cm ²	$F_c 21$: 21 N/mm ²		
	鉄筋材種 鉄筋降伏点強度 直径・間隔	柱主筋	SD 35	: 394 N/mm ²	・ D22	
		柱帯筋	SD 30	: 344 N/mm ²	・ D10 @100mm	
		梁主筋	SD 35	: 394 N/mm ²	・ D19	
		梁肋筋	SD 30	: 344 N/mm ²	・ D10 @200mm	
		壁主筋	SD 30	: 344 N/mm ²	・ D10 @250mm Dチドリ	
	鉄骨材種 鉄骨降伏点強度	柱		N/mm ²		
		梁		N/mm ²		
		ブレース		N/mm ²		
高力ボルト						
	リベット					
その他	第2種構造要素の処理		なし			

1-3 添付図書



	階数	構造	延べ面積	建築年次	備考
校舎A棟	3・塔屋1	RC造	2,434 m ²	昭和52年8月(1977年)	19棟
校舎B棟	2	RC造	823 m ²	昭和53年3月(1978年)	20棟
校舎C棟	2	RC造	1,895 m ²	昭和53年3月(1978年)	21棟
校舎D棟	2	RC造	68 m ²	昭和53年3月(1978年)	22棟
E棟	2	WRC造	81 m ²	昭和53年10月(1978年)	25棟
屋内運動場	2	S造一部SRC造	1,216 m ²	昭和53年10月(1978年)	24棟